

日本幼稚園協会主催 幼児教育講習会特集―その二

◇講演◇

脳の発達と育児

水野肇



水野先生の話の前に

周郷博

今日は、皆さんテレビや何かでご存知の、水野さんの話です。私は今から二十年くらい前、水野さんがまだお若かったころに、戦後最初にオーストリーに会議があつて帰つてもなく、岡山の孤児院で話をしましたが、孤児つていうのは誰も笑わないんです。何を話しても笑わないんですよ。それで何かきくと、今来た人は誰のお父さんになつてくれるだろうかつて事しか考えてないらしいのね。

その時に水野さんは取材に来たという事です。その事は去年わかつたんで、二十年前からの知り合ひなんですけれども、私が大変尊敬している男らしい人です。学識が非常に広くて、とらわれていなくて、私は大変啓発されます。皆さんもよく

聞いていただきたいと思います。

はじめに

ご紹介いただきました水野でございます。周郷先生は、私がかかできるような事をおっしゃつてくださったのですが、決してそうじゃなくて、私は外野席の方から、医学とか医療問題を眺めておるといふ、大変横着な立場で、そしてまた好き勝手な事をいってやる、そういう立場でございます。

今日は脳の発達という話をせいということになつておるのですが、これは本当は、真面目にいろいろ申しますといろいろな事がありまして、おもしろくもありませんが、ややこしくもあるということなんじゃないかと思ひます。私が今日申しあげます事は、決して金科玉条とお考えになつては間違ひが出てくるか